

請求日 年 月 日

(宛先) 館林市長

施設等利用費請求書 (償還払い用)

幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部の預かり保育事業の施設等利用費

【 年 月～ 年 月分請求用 】

年	月～	年	月分請求合計額	円
---	----	---	---------	---

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、下記のとおり請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んでください。
なお、施設等利用費の審査にあたり、次の事項に同意します。

1. 申請者と認定子どもが、館林市内に居住していることを館林市が住民基本台帳で確認すること。
2. 実際に利用していることを館林市が対象施設に確認すること。
3. 利用料の支払い状況を館林市が対象施設に確認すること。
4. 課税状況を館林市が確認すること。

1. 施設等利用給付認定保護者(請求者)

フリガナ		認定子ども との続柄	生年月日	年	月	日
氏 名	印	父・母・ その他 ()	〒	—		
			TEL	—	—	
※償還払いの場合の振込先は申請者名義の口座です						

2. 認定子ども(認定子どもごとに申請してください)

法第30条の4の認定種別	<input type="checkbox"/> 第2号 <input type="checkbox"/> 第3号	認定者番号(右詰で記入)									
生年月日	年	月	日	フリガナ							
令和 年 月1日～令和 年 月末日の間の住所				氏 名							
<input type="checkbox"/> 現住所のとおり <input type="checkbox"/> 転入した <input type="checkbox"/> 転出した											
上記で転入または転出に該当した場合は転入・転出日を記入				年 月 日							

3. 在籍する幼稚園・認定こども園・特別支援学校について

施設名称		所在地	〒	—							
		(市外の場合のみ記入)	TEL	—	—						
令和 年 月1日～令和 年 月末日の間の在籍状況			<input type="checkbox"/> 期間中在籍 <input type="checkbox"/> 途中入園した <input type="checkbox"/> 途中退園した								
上記で、途中入園または途中退園に該当した場合はその年月日を記入			年 月 日								

4. 償還払いの振込先

金融機関名		預金種目	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座	
銀行・信用金庫	支店	口座番号		
農協・信用組合	出張所	口座名義(カタカナ)		

<裏面も記入してください>

5. 今回の請求対象期間中、利用した認可外保育施設等について(※1)

※①～⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記載してください。

①	施設・事業名	所在地	〒	—	
			TEL	—	—
②	施設・事業名	所在地	〒	—	
			TEL	—	—
③	施設・事業名	所在地	〒	—	
			TEL	—	—
④	施設・事業名	所在地	〒	—	
			TEL	—	—
⑤	施設・事業名	所在地	〒	—	
			TEL	—	—
⑥	施設・事業名	所在地	〒	—	
			TEL	—	—

※1 「在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合」とは、在籍園の預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が8時間未満又は年間（平日・長期休業中・休日の合計）開所日数200日未満の場合のみです。

6. 施設等利用費の償還払い請求の内訳

利用年月	在籍園の預かり保育事業				認可外保育施設等に支払った金額(d) ※2 ※3	請求額 ※4 (「c+d」か月額上限額の低い方を記入)
	施設に支払った金額(a) ※2	利用日数	対象額(b) (450×利用日数)	aとbの金額の低い方を記入(c)		
年 月	円	日	円	円	円	円
年 月	円	日	円	円	円	円
年 月	円	日	円	円	円	円

※2 上記で記入した「施設に支払った金額」及び「認可外保育施設等に支払った金額」を証明する領収証（口座振替の場合は通帳コピー等の確認ができる書類等）と特定子ども・子育て支援提供証明書を添付してください。
また、子育て援助活動支援事業を利用した場合は、援助を行う会員が発行した活動報告書も添付してください。

※3 集計する際には、必要に応じて別紙「集計表」もご利用ください。提出は不要です。

※4 月額上限額は、法第30条の4の認定種別が第2号の場合は11,300円、第3号の場合は16,300円となります。「c+d」がこれを超える場合は、それぞれの月額上限額を記入してください。
請求期間中に転入出があった場合、日割計算をした上限額を記入してください。

【転入したときの上限額（※ 第3号の場合は16,300円）】

(11,300円※×館林市の認定日以降のその月の日数÷その月の日数)
－ (450円×館林市の認定日以降の預かり保育事業の利用日数)

【転出したときの上限額（※ 第3号の場合は16,300円）】

(11,300円※×転出日までのその月の日数÷その月の日数)
－ (450円×最後の利用日までの預かり保育事業の利用日数)